

自民党副幹事長、参議院政審副会長に就任！ 昨年9月から国土交通大臣政務官を務め、退任しました。このたび自民党副幹事長、参議院政審副会長を拝命し、全力で頑張つてまいります。



皆様から国政に送っていただいている、4年目を迎えております。

昨年9月末に国土交通大臣政務官を拝命し活動してまいりましたが、おかげさまで11か月間の職務を全うすることができました。在任中、皆様からいただいたご指導、ご鞭撻に対し、心からお礼申し上げます。

政府の立場は初めてで緊張の連続でしたが、国土交通省の幅広い分野の仕事と沢山の経験をすることができました。我が国の国土を創り、安全・安心を確保し、成長戦略を

現することの重要性を改めて認識いたしました。また官僚



昨年9月末、国土交通大臣政務官任命式後の記念撮影

との信頼を築くことができたのも忘れぬ財産です。今後、こうした経験を故郷新潟のために生かしてまいりたいと考えております。

さて、これから迎える国会で議論されるのが、「地方創生」です。急激な高齢化と少子化による人口減少が進む危機的状況の中、「地方創生」は待ったなしの課題です。

政府は「まち・ひと・しごと創生本部」を設立し、自律的で持続的な社会の創生に取り組みます。

また「国土のグランドデザイン2050」に基づき、まちの拠点機能をコンパクト化するともに、ネットワーキ化を図っていく必要があります。

2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。その効果を地方にも波及させることが重要です。訪日外国人旅行者二千万人を目指すとともに、魅力ある資源を生かし、観光地域をつくらなければならないなりません。

私も魅力あふれる地方を生ずるために全力で取り組んでまいります。

「中原君、新潟を背負って立て！」

中原八一君は、自民党がどん底にあった4年前、新人として参議院選挙に挑み、現職の厚い壁を破って見事当選されました。私は当時総裁として、中原君とともに新潟県の皆様方にお願いに回ったことを昨日の出来事のように思い出します。以来中原君は真面目一徹、党務に励み、国土交通政務官はじめ数々の仕事を着実にこなしてまいりました。

今回、その働きぶりが認められ、副幹事長に大抜擢されたことは望外の喜びでありますし、今後の活躍に大いに期待を寄せているところであります。

魅力あふれる新潟県。これからの新潟県の発展は中原八一君の成長に掛かっていると一言で過言ではありません。中原君は将来必ずや、新潟県を引っ張っていく人材になることでしょう。将来のその日に向け、引き続き温かくも厳しい目をもって育てて頂きますことを切にお願いいたします。

自由民主党幹事長

谷垣 禎一



自由民主党本部幹事長室にて

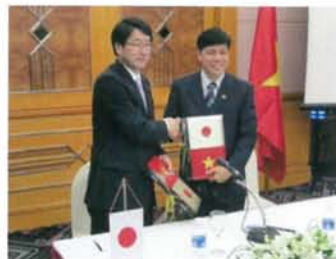
日本のインフラ技術を世界へ!



平成25年12月18~21日 日・ASEAN交通大臣会合
ラオス公共事業運輸大臣と共同議長を務めました



平成26年7月2日
ミャンマー運輸大臣と会談



平成26年3月7日
ベトナム運輸副大臣と覚書締結

開発途上国の発展には、インフラ整備の充実が不可欠です。日本のインフラ分野の国際協力へのニーズは高く、ベトナム・ミャンマー・ラオスを訪問し、技術協力や人材育成に係る協力文書を締結、日本の優れた技術により、開発途上国に貢献するとともに、わが国の成長戦略実現のために奔走しました。

国民の生命・財産を守るために!
去る8月20日に広島市の大規模土砂災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。15年前にも土砂災害で多くの命が奪われており、当時の教訓が生かされなかったことが悔やまれてなりません。
土砂災害のおそれのある危険箇所は全国で52万カ所にも及びます。いつ起こるかかわからない土砂災害から国民の



平成26年8月20~21日
広島市大規模土砂災害現地入り

生命と財産を守るため、土砂災害防止法の改正を目指します。



平成26年4月20日
大河津分水改修事業調査着手式

ふるさと新潟の安全・安心のために!
わたしたちの新潟でも平成16年と23年の新潟福島豪雨は記憶に新しく、抜本的

日本海沿岸東北自動車道 朝日温海道路



平成26年7月31日
日治道・朝日温海道路視察

な治水対策が急がれます。豪雨時に日本一の大河・信濃川から越後平野を守るため、大河津分水の流下能力向上をはじめ、河床安定、老朽化対策は長年の課題です。壮大なプロジェクトに向けて、調査着手式が4月20日に行われ、安全・安心な県土づくりへの大きな一歩を踏み出しました。引き続き早期に事業着手できるよう取り組みます。

日本海国土軸の形成に向けて!
上信越自動車道の信濃町ICと上越IC間の4車線化は長年の懸案でした。民主党政権下で凍結されましたが、ようやく再開に至りました。東日本大震災以降、バックアップ機能として日本海国土軸の形成が急務です。日治道の朝日まほろば温海温泉間の早期全線開通により、東北との経済・観光交流を飛躍的に高め、本県の大きな発展につなげていきたいと思っております。



平成26年5月18日
上信越自動車道着工式

